

外国語教育メディア学会関西支部中学高校授業研究部会  
「第17回中学高校教員のための英語教育セミナー」

日時：3月26日（土）10：00～4：45

3月27日（日）10：00～4：30

場所：キャンパスプラザ京都（JR京都駅・ビックカメラ前）

内容：テーマ「長い目で見て本当に生徒のためになる英語の学力とは」

26日

9:30 受付

10:00 開会

10:05～11:35「キー・コンピテンシーにつながる学力の養成」

西本有逸（京都教育大学）

21世紀に生きる生徒のことを考えると英語の学力を大所高所から捉え直す必要がある。その際、OECDのDeSeCo(Definition and Selection of Competencies)プロジェクトの「キー・コンピテンシー」はひとつの指針となり得る。自律的に活動する力・道具を相互作用的に用いる力・異質な集団で交流する力、これら3つの鍵となる能力と英語の学力とはどのように絡み合うのか、小中高大を通してコミュニケーションという視座から考えてみたい。

11:35～13:05 昼食・展示

13:05～14:35「中学校3年間を見通した学力保障の取り組み」

西田めぐみ（亀岡市立南桑中学校）

当日は、次の3点について紹介させていただきます。

- ①授業で鍛える英語の「基礎体力」…基本文の定着を図り、語彙力を上げるための取組
- ②授業初めの2分間英会話…復習と新出文法の導入に使い、スパイラル学習として役に立つQ&A集
- ③4技能の統合を図るためのパフォーマンス課題とその評価の取組…思考力と表現力を効果的に身につける実践例

14:35～14:55 休憩・展示

14:55～16:45「フロアとのディスカッション」

杉本義美（京都外国語大学）・鈴木寿一（京都外国語大学）

高田哲朗（京都教育大学附属高等学校）

西田めぐみ（亀岡市立南桑中学校）・西本有逸（京都教育大学）

27日

9:45 受付

10:00~11:30 「多様な生徒からなる集団の学力を伸ばすために必要なこと」

高田哲朗（京都教育大学附属高等学校）

21世紀も5分の1が過ぎ、英語教育に求められる内容が大きく変わってきた。そのことは間もなく実施時期を迎える新指導要領にも反映されている。一方、近年の生徒（集団）も大きく変化してきた。これらの変化に教師側が十分対応できていないばかりか、ともすれば、旧来のやり方に固執するあまり、肝心の生徒の学びが成立していない、いわゆる「学びからの逃走」が起こっている現状がある。学校の授業に本来あるべき「学び」を取り戻し、これからの時代を生き抜く力を養える英語の授業をどのように進めればよいのかを参加者と一緒に考えてみたい。

11:30~12:50 昼食・展示

13:50~14:20 「中高大の英語力低下とその対策—具体的事例と実証データをふまえて—」

鈴木寿一（京都外国語大学）

日本人学習者の学力低下の原因を15分程度でまとめたあと、その対策を中心にお話しします。対策には2種類あります。一つは、対症療法的なもの（たとえば、センター試験などの入試対策やTOEIC対策などに見られる過去問や模擬問題を用いた対策）と、長期的展望に立った対策です。このセッションでは、後者、すなわち、長い目で見て、教師（あるいは学校）が学習者たちのために何を行えばよいかについて、これまでの英語教育研究と教育現場での実践研究の成果に基づいて具体的に提案したいと思います。

14:40~15:00 休憩・展示

15:00~16:30 「フロアとのディスカッション」

杉本義美（京都外国語大学）・鈴木寿一（京都外国語大学）

高田哲朗（京都教育大学附属高等学校）

西田めぐみ（亀岡市立南桑中学校）・西本有逸（京都教育大学）

[講師自己紹介（五十音順）]

杉本義美（すぎもと よしみ） 京都外国語大学外国語学部英米語学科准教授

1956年生まれ。京都教育大学英文学科卒業後、18年間京都市立朱雀中学校英語科教員として勤務の後、5年間の京都市教育委員会学校指導課指導主事、京都市総合教育センター指導室指導主事を経て、2005年より現職。専門は英語教育学、教育評価。勤務校では、学部のTEFLコース専門科目Professional Development in TEFL、英語教育法、英語教育学ゼミなど、大学院博士前期課程で、授業観察分析、評価、修論ゼミなどを担当。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語専門部会委員(第3, 4期)及び文部科学省教科用図書検定調査審議会専門委員、教育委員会研究指定校のアドバイザーなどを務める。著書:『中学校英語授業指導と評価の実際』(大修館書店)、分担執筆:『私の英語授業』(大修館書店)、「指導と評価の一体化を目指す英語授業」(東京書籍)ほか、英語教育に関する論文多数。

### 鈴木寿一（すずき じゅいち） 京都外国語大学外国語学部英米語学科教授

神戸市外国語大学英米学科卒業。公私立の中学・高校 4 校で 26 年間、本当に生徒のためになる英語授業を実証的に追及。1998 年京都教育大学助教授、2001 年同教授、2005 年より現職。勤務校では、学部と大学院博士前期・後期課程で英語教育関係科目及び研究指導を担当。学外では、文部科学省及び教育委員会研究指定校のアドバイザーを務める。4 技能指導法、4 技能と結びつけた文法指導法、語彙指導法の研究とその教材の開発、現場からの要請による訪問授業改善指導などに取り組んでいる。共編著：『ことばの心理と学習』（金星堂）『より良い英語教育を目指して』、『音読・シャドーイング指導法ハンドブック（2011 年出版予定）』、『より良い英語教育を目指して PART2（2011 年出版予定）』、分担執筆：『英語教育の基礎知識』、『英語科教育法ハンドブック』（以上、大修館書店）、『現代の言語研究』（金星堂）、『新しい読みの指導』（三省堂）、高等学校用検定教科書 *MAINSTREAM, NEW STREAM* シリーズ（増進堂）、学習参考書：『クリスタル総合英語』（増進堂）ほか。

### 高田哲朗（たかだ てつろう） 京都教育大学附属高等学校教諭

京都教育大学教育学部英文学科卒業。京都教育大学大学院教育学研究科在学中。京都府立高校 3 校に 16 年間勤務後、現職。Team-Teaching、LL 教材作成などに力を入れる。近年は SSH における科学英語の指導を担当。協同学習で行う英語授業のあり方を研究中。共著：高等学校検定教科書 *Polestar* (I、II、ライティング)、サイドリーダー『Charles M. Schulz—My Life with Snoopy』、『Faster, Higher, Stronger—the Story of the Olympics』（以上、数研出版）、『シャドーイングと音読英語トレーニング』（コスモピア）、分担執筆：『ジーニアス英和大辞典』、『よりよい英語授業を目指して』、『英語語彙指導ハンドブック』、『英語リーディング指導ハンドブック』、『音読・シャドーイング指導法ハンドブック（2011 年出版予定）』（以上、大修館書店）、『現代英語教育の言語文化学的諸相』（三省堂）、『電子辞書を使った効果的指導法』（日本英語教育協会）、『「読むこと」の必要性を今』（日本英語検定協会）、学習参考書：『クリスタル総合英語』（増進堂）、紀要論文多数。趣味はクラシック音楽鑑賞、美術館や奈良の古寺を訪ねること。

### 西田めぐみ（にしだ めぐみ） 京都府亀岡市立南桑中学校教諭

教職 28 年。京都府丹波町立蒲生野中学校、亀岡市立東輝中学校を経て現職。平成 20 年より、京都大学 E.Forum に参加し、逆向き設計論を基にしたパフォーマンス課題を取り入れた指導を進めている。中学 3 年間を見通した英語指導を基本理念として、Buzz Time ほか、中学生の英語による発表能力を伸ばす指導に取り組んでいる。平成 19、20 年京都教育大学教員養成 GP にて、小学校における外国語活動の進め方について学び、平成 20 年～23 年亀岡市教育委員会外国語活動検討委員として活動。平成 22 年度京都府公立学校優秀教職員。分担執筆：『より良い英語教育を目指して PART2（2011 年出版予定）』（大修館書店）。

### 西本有逸（にしもと ゆういち） 京都教育大学教授

兵庫教育大学大学院修了。大阪府内の 3 つの国公立高等学校に計 14 年間勤務。2001 年京都教育大学助教授。2008 年より現職。専門は英語教育学。英語科教育を認識論と存在論から照射する。リーディング論を中心とする認識論だけでなく、人間の存在に外国語教育がどのような役割を果たすのかを身体・言語・情動・人格を基軸に考究している。共編著：『これからの英語学力評価のあり方』（教育出版）、分担執筆：『英語リーディングの認知メカニズム』（くろしお出版）、『より良い英語授業を目指して』、『音読・シャドーイング指導法ハンドブック（2011 年出版予定）』（以上、大修館書店）、基調講演：Pedagogically Motivated Framework of Ontology in the Cultural-historical Theory: Emoting, Languaging, and Authoring the World. A Keynote Address at the 10th International Vygotsky Conference in Moscow, 2009.ほか。趣味は登山。最近では温泉巡りに取って代わりつつあることに複雑な気持ちになっている。

[ 参加費 ]		事前申込の場合		当日参加の場合:	
		2日間	1日のみ	2日間	1日のみ
①	LET 会員	1,500円	1,000円	2,500円	1,500円
②	英語の教え方研究会会員・より良い英語教育を考える会会員	2,500円	1,500円	3,500円	2,000円
③	①以外の大学院生・学部生	2,500円	1,500円	3,500円	2,000円
④	①②③以外の方	5,000円	3,000円	6,000円	3,500円

### [ 参加申込方法 ]

#### 1. 事前申し込み：3月11日（金）締切（郵便局当日受付印有効）

郵便局備え付けの振替用紙に必要事項をご記入の上、ご送金ください。なお、お送りいただきました参加費は理由の如何に関わらず返金いたしかねますので、ご了承ください。

口座番号：00920-7-153267

加入者名：鈴木寿一

必要事項：振替用紙の通信欄に次の事項を必ずお書きください。

1. 参加日：例：3/26, 3/27（2日間ご参加の場合） 例2：3/28（1日のみご参加の場合）

2. 送金内訳：(例) 参加費1500円、書籍代金5,700円（書籍番号1, 2, 3）  
のように明記してください。

3. 電子メールアドレス（お持ちでない方は電話またはFAX番号）

#### 4. 勤務校名または在籍校名：

(例) 教員の場合 ○○市立△△中学校 ○○県立△△高等学校 ○○大学

学生の場合 ○○大学△△研究科院生 ○○大学△△学部

#### 2. 当日ご参加の場合：セミナー当日、受付にて当日参加費をお支払いください。

### [会場までのアクセス]

#### 会場までの交通機関

京阪電車利用の場合：丹波橋で下車、近鉄電車に乗り換え、近鉄京都駅下車(所要時間約10分)会場(教室)まで徒歩約7分。

近鉄電車利用の場合：西大寺から急行で近鉄京都駅下車(所要時間約45分)、会場(教室)まで徒歩約7分。

JR利用の場合：京都駅下車。会場(教室)まで徒歩約5分。

阪急電車利用の場合：梅田から特急で烏丸で下車(所要時間約40分)、京都市営地下鉄に乗り換え、京都駅下車(所要時間約5分)、会場(教室)まで徒歩約7分。

### [ 事前申込割引販売書籍 ]

\* 書籍代金は参加費とともに振込用紙でご送金ください。

\* 以下の書籍を特別価格でご購入いただけますのは今回のセミナーにご参加の方のみです。書籍のみの注文はお引き受けできません。表示価格は消費税込の価格です。

\* 以下の書籍以外でも、大修館書店発行の書籍はセミナー特別価格で入手できます。上記問い合わせ先へ、購入ご希望の書名と著者名を3月7日までにお知らせください。2, 3日後にセミナー特別価格をお知らせいたしますので、書籍代金を参加費とともにお送り下さい。

1. 斎藤栄二(著)『英語授業レベルアップの基礎』2100円→1700円
2. 斎藤栄二(著)『英語授業成功への実践』2100円→1700円
3. 斎藤栄二・鈴木寿一(編著)『より良い英語授業を目指して』2835円→2300円
4. F・ジョンソン(著)『コミュニケーションな英語授業のデザイン』1890円→1550円
5. 高島英幸(編著)『英語のタスク活動と文法指導』2625円→2100円
6. 高橋正夫(著)『実践的コミュニケーションの指導』2100円→1700円
7. 萩野俊哉(著)『コミュニケーションのための英文法』1890円→1550円
8. 金谷憲(著)『英語授業改善のための処方箋』1890円→1550円
9. 松沢伸二(著)『英語教師のための新しい評価法』2520円→2050円

10. 杉本 卓・朝尾幸次郎(著)『インターネットを活かした英語教育』1890円→1550円
11. 静 哲人(著)『英語テスト作成の達人マニュアル』2520円 → 2050円
12. 津田塾大学読解研究グループ(編)『英文読解のプロセスと指導』2730円 → 2200円
13. 石田秀雄(著)『英語読解講義』1680円 → 1350円
14. 佐野正之(著)『アクション・リサーチのすすめ』1890円 → 1550円
15. 岡 秀夫(監修)『オーラル・コミュニケーション・ハンドブック』1890円→1550円
16. 竹田明彦(著)『学校用語英語小事典』第3版 2415円→1950円
17. 望月正道ほか(著)『英語語彙の指導マニュアル』2100円→1700円
18. 金谷 憲ほか(著)『英語力はどのように伸びてゆくか』1995円→1600円
19. 瀧口 優(著)『苦手を好きに変える英語授業』1785円→1450円
20. 清川英男ほか(著)『英語教師のためのEXCEL活用法』1890円→1550円
21. 吉田研作ほか(著)『日本語を活かした英語授業のすすめ』1785円→1450円
22. 田中武夫ほか(著)『自己表現活動を取り入れた英語授業』2310→1850円
23. 山内 進(著)『言語教育学入門』2520円→ 2050円
24. 三浦省五(監修)『英語教師のための教育データ分析入門』1680円→1350円
25. 小池生夫(編集主幹) 寺内正典他(編著)『第二言語習得研究の現在』2940円 →2400円
26. 白畑知彦(編著)『英語習得の「常識」「非常識」』1785円→1450円
27. 岡秀夫・赤池秀代・酒井志延(著)『英語授業力強化マニュアル』2310円→1850円
28. 佐野正之(著)『はじめてのアクション・リサーチ』1680円→1350円
29. 高島英幸(著)『文法項目別・英語のタスク活動とタスク』2520円→2050円
30. ゾルタン・ドルニエイ(著)・米山朝二・関昭典(訳)『動機づけを高める英語指導戦略35』  
2205円→1800円
31. 酒井邦秀・神田みなみ(編著)『教室で読む英語100万語—多読授業のすすめ』1575円→1300円
32. 西野春雄(著)『英語学習のための情報リテラシー』1365円→1100円
33. 小寺茂明・吉田晴世(編著)『英語教育の基礎知識』1680円→1350円
34. CD-ROM版『ジーニアス英和(4版)・和英(2版)辞典』9240円→7400円
35. 山岡憲史(著)『英語の基本単語徹底活用クロスワード101』1260円→1050円
36. 望月昭彦・山田登(編著)『私の英語授業』3045円→2450円
37. 村野井仁(著)『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』 1680円→1350円
38. 小池生夫(編集主幹)『第二言語習得研究の現在』2940円→2400円
39. 大学英語教育学会学習戦略研究会(編著)『英語教師のための「学習戦略」ハンドブック』  
1680円→1350円
40. 杉本義美(著)『中学校英語授業指導と評価の実際—確かな学力をはぐくむ』1260円→1050円
41. 田中茂範・佐藤芳明・阿部一(著)『英語感覚が身につく実践的指導:コアとチャンクの活用法』  
1890円→1550円
42. 門田修平・池村大一郎(編著)『英語語彙指導ハンドブック』2625円→2100円
43. 小西友七・南出康世(編集主幹)『ジーニアス英和辞典』第4版 3465円→2800円
44. 岸野英治(著)『総合コミュニケーション英語文法』 3780円→3050円
45. 石川慎一郎(著)『英語コーパスと言語教育』 2730円→2200円
46. 大井恭子(編著)、田畑光義・松井孝志(著)『パラグラフ・ライティング指導入門』 2100円→1700円
47. 萩野俊哉(著)『英文法指導Q&A』 1890円→1550円
48. 松村昌紀(著)『英語教育を知る58の鍵』 1890円→1550円
49. 金谷憲(編著)『教科書だけで大学入試は突破できる』 1890円→1550円
50. 和泉伸一(著)『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 2310円→1850円
51. 松本青也(編著)『ネットで楽しく英語コミュニケーション』 2100円→1700円
52. 白畑知彦ほか(編著)『英語教育用語事典』(改訂版) 2625円→2100円
53. 小池直巳・佐藤成司(著)『英語ネイティブ度判定テスト』 840円→700円
54. 今井邦彦(編)『最新語用論入門 12章』 1890円→1550円
55. 樋口忠彦ほか(編著)『すぐれた英語授業実践』 2310円→1850円

56. 田中武夫・田中知聡(著)『英語教師のための発問テクニック』2310円→1850円
57. 金谷憲(編集代表)『英語授業ハンドブック・中学校編』(DVD付) 3780円→3050円
58. アレン玉井光江(著)『小学校英語の教育法 理論と実践』2310円→1850円
59. 渡部伸一(編)『「学び」の認知科学事典』3780円→3050円
60. 小山内大(著)『クイズ英語生活力検定 1』798円→650円
61. 小山内大(著)『クイズ英語生活力検定 2』798円→650円
62. 崎村耕二(著)『論理的な英語が書ける本』2520円→2050円
63. 森住衛ほか(編)『大学英語教育学大系第1巻・大学英語教育学』3360円→2700円
64. 木村博晃ほか(編)『大学英語教育学大系第10巻・リーディングとライティングの理論と実践』3360円→2700円
65. 相澤一美・望月正道(編著)『英語語彙指導の実践アイデア集』2520円→2050円
66. 門田修平・野呂忠司・氏木道人(編著)『英語リーディング指導ハンドブック』3150円→2550円
67. 高瀬敦子(著)『英語多読・多聴指導マニュアル』1890円→1550円
68. 望月昭彦(編著)『新学習指導要領にもとづく英語科教育法』2415円→1950円
69. 小島英夫ほか(編)『大学英語教育学大系第6巻・成長する英語学習者』3360円→2700円
70. 山岸信義ほか(編)『大学英語教育学大系第11巻・英語授業デザイン』3360円→2700円
71. 岡田伸夫ほか(編)『大学英語教育学大系第8巻・英語研究と英語教育』3360円→2700円
72. 塩沢 正ほか(編)『大学英語教育学大系第3巻・英語教育と文化』3360円→2700円
73. 寺内 一ほか(編)『大学英語教育学大系第4巻・21世紀のESP』3360円→2700円